

Ⅱ 収支予算

令和２年度収支予算書

(１) 収入

(単位：千円)

項 目	令和２年度 当初予算額	令和元年度 当初予算額	比 較	備 考
花巻市交付金	11,720	11,720	0	地域づくり交付金
花巻市委託料	5,712	5,686	26	指定管理委託料
繰 越 金	1	1	0	前年度繰越金
雑 入	1	1	0	預金利息
合 計	17,434	17,408	26	

(２) 支出

(単位：千円)

項 目	令和２年度 当初予算額	令和元年度 当初予算額	比 較	備 考
1. 地域づくり交付金事業	11,722	11,722	0	(1) + (2)
(1) 事務費	2,450	2,435	15	・ 報酬 240 ・ 日当 100 ・ 賃金 1,410 ・ 需用費 500 ・ 役務費 200
(2) 事業費 ① + ②	9,272	9,287	△ 15	① 本部事業 2,163 ・ 総務企画 825 ・ 生活環境 180 ・ 保健福祉 145 ・ 地域振興 450 ・ 教育文化 563 ② 地域づくり支援事業 7,109 ・ 道路整備 2,893 ・ 生活環境 2,908 ・ 自治公民館 951 ・ 防災関係 265 ・ 団体支援 92

(単位:千円)

項 目	令和２年度 当初予算額	令和元年度 当初予算額	比 較	備 考
2. 振興センター 管理事業	5,234	5,217	17	内訳 ・報酬 240 ・賃金 135 ・人件費 4,365 ・需用費 424 ・役務費 70
3. 社会体育館 管理事業	478	469	9	内訳 ・報酬 240 ・賃金 150 ・需用費 88
合 計 (1+2+3)	17,434	17,408	26	

※令和元年度に返納した地域づくり交付金 395,000 円は令和２年度に追加交付金として申請予定ですが、令和２年度当初予算には計上せず令和２年度補正予算で対応いたします。

(３) 予算の補正

事業費の増減等による項目間の予算の補正は、本部役員会で決することができる。ただし、次の総会に報告し承認を得るものとする。

I 令和2年度事業計画

1. 基本方針

平成19年5月、花南地区コミュニティ会議の発足からこれまで、宮沢賢治ゆかりの地に住む私たちは、「賢治の心が息づく ハートフル花南」を将来都市像に掲げ、住民どうしの交流と連携を図り、住みよい花南地区の実現に向けて様々な取り組みを進めてきたところです。

令和2年度は、住民主体のまちづくりも13年目を迎え、これから本格的に始まる令和の時代を見据えつつ、花南地区民の参画と協働による花南のまちづくりが一層進展するよう、花南地区コミュニティ会議の専門委員はもとより、関係諸団体と連携を図り、住民主体のまちづくりを推進します。

2. 事業内容

(1) コミュニティ会議本部事業

◇総務企画部会

① 広聴広報事業

花南地区コミュニティ会議の活動や、『参画と協働のまちづくり』への関心を深めるため、情報誌「花南コミュニティだより」の発行やまちづくり情報の収集及び発信に努めます。

② 国際交流

富士大学に学ぶ海外からの留学生に、花南地区を知ってもらうとともに、南城中学校生徒や住民との触れ合いと交流を通じ、共に理解を深めるため富士大学留学生と南城中学校生徒の交流会を開催します。

③ 人材育成

花南地区のまちづくりを担う人材を育成するため、人材育成事業「上館協働塾」を開催します。

④ 各種講演会の開催

芸術文化の鑑賞の機会として「花南寄席」や文化祭などの場を活用した「郷土芸能鑑賞会」、「ステージ発表会」を開催します。

また、花南地区のまちづくりについて幅広く考える「花南の明日を語る懇談会」、南城中学校生徒を対象とした教育講演会を開催します。

⑤ 富士大学との連携

花南地区の発展と教育・学術・文化の振興等を目的とした包括連携協定を結ぶ富士大学との関係をより一層深め、地域創生研究の具現化プランへの参画や学生を巻き込んだ活動をします。

⑥ 花南地区コミュニティ会議「活動の歩み」の発行

平成 25 年に発行した「花南地区コミュニティ会議発足 5 周年～活動の歩み～」に続き、平成 24 年度から平成 31 年 4 月までの活動をまとめた記念誌を発行します。

◇生活環境部会

① 交通安全の推進

令和 2 年度花巻市交通安全推進モデル地区指定に向け、市交通安全協会南分会、花南地区交通安全母の会と連携し、地域内の交通危険箇所の解消及び交通安全意識の啓発普及に取り組みます。

② 防犯・防災の推進

災害時への対応や救急活動への理解を深め、安全・安心な花南地区を築くため、自衛消防訓練・救命講習会の開催や広報の防災一口メモを通じ防災意識向上を図ります。

また、桜町駐在所と連携し、犯罪のないまちづくりを推進するため、「こども 110 番の家」の活用と協力世帯の維持確保に取り組みます。

③ ボランティア支援

南城小学校児童のボランティア活動を支援するため、花南振興センターに空き缶プルタブ回収の窓口を設置します。

また、地域の除雪ボランティア活動を支援するため、除雪機の貸し出し及び点検整備等を行います。

④ 道路整備等事業要望の現地調査

自治会から要望された地域づくり交付金事業の道路整備及び道路施設整備の現地を本部役員会と合同で調査を行い、緊急性・必要性等を協議し採択する事業を選定します。

◇保健福祉部会

① 世代間交流

夏休みを利用して昔遊び体験や昼食会等を通じ、世代を超えたふれあいと絆を深めるため、世代間交流会を開催します。

② 料理教室

料理を通じて食への関心と食育の大切さを学び、親子のふれあいを深めるため、親子料理教室を開催します。

③ かなん子どもひろば支援

就学前の子育ての仲間づくりや情報交換の場として、毎月1回開設されている「かなん子どもひろば」は、地域の子育て対策として重要な役割を担っており、その活動が円滑に展開されるよう必要な支援を行います。

④ 講演会・研修会

住民にとって関心の高い「健康」や、地域で支える「福祉」など避けて通れない課題について理解を深めるため、講演会・研修会を開催します。

⑤ 高齢者外出機会の創出

高齢者の生きがいづくり推進や地域とのつながりを深めるため、だれでも気軽に参加でき楽しいひと時を過ごす「花南シニア井戸端ひろば」を開催します。

◇地域振興部会

① 雨ニモマケズ詩碑周辺整備事業

宮沢賢治ゆかりの地にふさわしい花南地区を築くため、今後の展開について調査研究・整備を行います。

今年度は下ノ畑に擬木ベンチを設置するとともに、全国から訪れる賢治ファンをお花でお迎えするため賢治文学散歩道にプランター花壇を設置します。

② 地域交流事業

地域住民及び世代間の交流と地域の振興を図るため、自治会対抗グランドゴルフ大会を開催します。

③ 新花巻発見探訪ツアー

花巻市内各地域の史跡・名所や施設等を訪問することにより、私たちが住むまちを再認識し花南地区のまちづくりに生かすため、今年度は東和地区を訪問します。

④ 史跡・名勝等の調査整備

花南地区に残されている歴史的文化的な史跡名勝地の理解を深めるため、学習会・研修会を開催します。

⑤ 地域活性化の推進

花南地区の活性化について講演会や研修を行い、地域振興が推進されるよう努めます。今年度は国道4号線花巻北上間の4車線化や国道4号線山の神交差点改良について理解を深めます。

◇教育文化部会

① 宮沢賢治に関する事業

宮沢賢治ゆかりの地にふさわしい花南地区を築くため、宮沢賢治について理解を深める事業「第4回賢治さんゆかりの地を歩く」の実施や花南振興センター図書コーナーの宮沢賢治書籍の拡充を図ります。

② 児童生徒の自主学習支援

児童生徒の夏休みや冬休み期間中の自主学習を支援するため、児童生徒の部屋『自学館』の開設と、親子工作教室を開催します。

③ 教育に関する講演会の開催

家庭や地域の教育力を高め、児童生徒の健全育成と地域力の向上を図るため、南城小中学校、同PTA、花南教育振興協議会等と連携し、教育に関する講演会を開催します。

④ 伝統芸能の支援

花南地区内の伝統芸能等についての支援活動を行います。

⑤ 花南地区文化祭の開催

花南地区文化祭実行委員会に参画し、花南地区民の芸術文化の発表の場となる花南地区文化祭が、多くの住民参加により充実した内容となるよう努めます。

⑥ 生涯学習の推進

生き生きと充実した生活が送られるよう、学びの機会を提供するため、花南高齢者学級やかなん女性学級をはじめ自然観察会、地区民ふれあい登山など各種講座を開設します。

また、花巻地域の振興センターと連携し同じテーマの講座を合同企画・運営し生涯学習を推進します。

（２）地域づくり支援事業

◇公共施設等の軽微な維持補修

花南地区コミュニティ会議の「生活道路等整備支援事業実施要領」に基づき、自治会が行う道路の舗装修繕、道路施設の整備修繕等を支援します。

◇生活環境の整備

街路灯やカーブミラー、ごみ集積所など住民の安全確保や美化・環境整備を図るための事業を支援します。また、自治公民館の修繕や備品整備、防災資機材の整備など自治会の課題解決や、住民のふれあいと交流を促進する事業を支援します。

◇各種団体の育成支援

花南地区自治公民館連絡協議会や花南教育振興協議会等の活動を支援するとともに、各種団体が行う花南地区民のふれあいや交流、安全で安心なまちづくりに資する事業を支援します。

（３）市の施設の管理事業

花南振興センター及び花南地区社会体育館の管理を花巻市から受託し、住民の生涯学習やまちづくりの拠点施設として親しまれ、使いやすい施設となるよう適正な管理運営を行います。